

# 県南農林だより

～ふくしまから はじめよう「食」と「ふるさと」新生運動ニュース～

第 32 号

令和元年12月12日発行

## 目次

### 「台風第19号等の暴風雨」について

- 県南農林事務所管内の被害状況
- 農林水産業の被害に関する相談
- 農林水産業復旧の手引き

### 農林業関係の動き

- 令和元年度第7回JA東西しらかわ肉用牛共進会が開催されました
- 第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- 「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」キャベツ収穫機現地検討会を開催しました
- 森林づくりタウンミーティングを開催しました
- 「県南地方トマト栽培セミナー」を開催しました
- 令和元年度県南地方特定家畜伝染病対策防疫演習を開催しました
- 第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

### トピックス

- 高校生の林業現場見学会を開催しました！
- 災害復旧に向けた取組について

## 「台風第19号等の暴風雨」について

### 県南農林事務所管内の被害状況

はじめに、このたびの台風第19号等の暴風雨により、災害の犠牲になられた皆様に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、全ての被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

全国各地に被害をもたらした台風第19号等の暴風雨は、福島県においても洪水や土砂崩落、河川の氾濫・決壊等を発生させ農林水産業に甚大な被害をもたらし、県南管内の被害総額は11月29日現在で、約105億円となっております。

県南管内の被害の概要については以下のとおりです。

#### 1 農業等の被害

農作物の被害は、水稻の冠水のほか、トマト、ブロッコリー、いちご、シクラメンなど様々な品目に及び、8市町村で被害面積は約309ha、被害額は約2億6,400万円となっております。

また、農業等施設についても、ビニールハウスや倉庫の損傷などの被害が6市町村で25件発生し、被害額は約390万円となっております。

このほか、畜産では牛舎が浸水したことにより、肉用牛11頭が被害を受け、被害額は約320万円となっております。



稲ワラの流入被害



ビニールハウスの倒壊とニラの浸水被害

## 2 農地等の被害

農地の被害は、農地への土砂流入や流出、法面崩壊など9市町村の田畑2,642箇所及び、被害額は約43億3,900万円となっております。

また、道路、水路、頭首工など農業用施設の被害も深刻であり、豪雨や河川の氾濫に伴う農道、用排水路の流失や埋塞及び破損、取水堰の流失など、併せて9市町村で2,118箇所、被害額は約53億4,400万円となっております。

このほか、農村集落の下水処理施設である農業集落排水施設の操作機器等が浸水するなどの被害が発生し、5市町村の6箇所被害額は約6,200万円となっております。



農地（田）の流出



頭首工（堰）の流失

## 3 林業等の被害

林道の被害も大きく、7市町村80路線179箇所において路体崩壊、法面崩壊などが発生し、被害額は約3億8,600万円となっております。

また、林地関係では、2市町で山腹崩壊が4箇所発生し、被害額は約6,100万円となっております。

さらに、木材加工流通施設や林産施設への被害も2件発生し、被害額は約4,700万円となっております。



林道の路体崩壊

県では、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻せるよう、市町村、国、関係機関と連携し、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。

【企画部】

## 農林水産業被害に関する相談

当事務所では、「台風第19号等の暴風雨」の被害からの農林水産業の復旧に関する相談窓口を下記のとおり設けております。

### 1 相談窓口

企画部 電話 0248-23-1576

### 2 受付時間

午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝休日を除く）

【企画部】

## 農林水産業復旧の手引き

今回の台風第19号等により被災した農林漁業者の皆様の災害復旧や経営再開を支援するため、生産に係る技術対策や国、県の支援対策、相談先等をまとめた手引き書を福島県農林水産部で作成いたしました。

最新の情報は、福島県農林企画課のホームページでご覧になれます。  
災害復旧や経営再開にお役立てください。

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/>

【企画部】

## 農林業関係の動き

### 「令和元年度第7回JA東西しらかわ肉用牛共進会」が開催されました

令和元年9月24日（火）、JA東西しらかわ畜産振興集出荷場において、第7回肉用牛共進会が開催されました。肉用牛共進会とは肉用牛の改良促進と飼養管理技術の向上を目的に行われるもので、「第1区（若雌の1）」「第2区（若雌の2）」「第4区（繁殖雌牛2頭群）」の全3区に、いずれも『磨かれた美しい雌牛たち』併せて24頭が出品されました。

発育・栄養度・種牛性等により厳正なる審査が行われ、最高位のグランドチャンピオン賞には第2区の「とみざわ170号」（鮫川村 関根徳次氏所有）が選ばれ、各区の優等賞受賞牛は、第29回JAグループ和牛育成管理共進会（10月29日開催）に推薦されました。



グランドチャンピオン賞を受賞した  
「とみざわ170号」

【農業振興普及部】

### 第1回「おいしい ふくしま いいただきます！」キャンペーンを開催しました

令和元年11月3日（日）、鮫川村にある農産物加工・直売所「手まめ館」の14周年イベントに併せて、今年度第1回目の「おいしい ふくしま いいただきます！」キャンペーンを開催しました。

このキャンペーンは、県産農林水産物の安全性や美味しさなどの魅力を県内の消費者のみなさまに直接PRすることによって、地産地消の推進を図るために開催しています。

当日は、アンケートに回答していただいた方に、鮫川村産の大豆で製造した「達者の味噌」などのプレゼントや鮫川村産の味噌・野菜・豚肉等を使用した豚汁を試食として提供するなどし、県産農林水産物の安全性や魅力をPRしました。

来場者からは「福島の野菜は新鮮でおいしくて安全だから安心して購入している」などの声が聞かれました。



アンケート回答者にプレゼントを配布

【企画部】

### 「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」キャベツ収穫機現地検討会を開催しました

令和元年11月7日（木）に、白河市表郷の株式会社吉野家ファーム福島との協力を得て、キャベツの全自動収穫機による収穫作業の省力化について現地検討会を行いました。

当事務所では、「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」を活用し、加工用キャベツを対象とした高性能作業機械の実証を行っており、検討会には白河市、JAなどから20名が参加しました。

通常、キャベツの収穫は腰を曲げて手作業で行うため、大変な重労働となりますが、このキャベツ収穫機は自動で収穫・根の切断を行い、機上で選別・調製ができます。作業者の負担軽減につながることから、参加者は高い関心を持っていました。

今後は、高性能機械導入による経営評価と需要の高い寒玉系キャベツの収穫期拡大に向けた品種比較試験を行うなど、先端技術の現場への実装に向けて取り組んで参ります。



キャベツの収穫作業実演

【農業振興普及部】

## もり 森林づくりタウンミーティングを開催しました

令和元年11月11日（月）、棚倉町の新富家においてもり森林づくりタウンミーティング（県南会場）を開催しました。

このタウンミーティングは、森林環境税を活用した取組や成果について広く知っていただくとともに、意見や提案を県民の皆さんから直接いただくために開催したものです。

県の森林環境税は、県民共有の財産である豊かな森林を守り育て、次世代に引き継ぐために平成18年度から導入し、「森林環境の保全」と「森林を守り育てる意識の醸成」を基本目標として、荒廃した森林や里山林の整備、森林内からの間伐材搬出の支援、森林ボランティア団体の活動の支援、小学校での木工教室の実施など、様々な取組を行ってきました。

当日は61名のご参加をいただき、最初に制度のあらましや取組成果について県から説明を行いました。

その後に行われた意見交換では、「荒廃した森林が有害鳥獣のすみ処とならないように整備すべき」、「学生に対し、将来の就職につながるような森林環境学習を実施してほしい」、「国有林内での里山活動も支援の対象としてほしい」など、森林環境税を活用した支援・取組について、多くの意見や要望をいただきました。



森林環境税の取組や成果を説明

## 福島県森林環境税に関するアンケートを実施しています！

県では、今後の森林環境税の取組の参考とさせていただくため、令和元年12月25日（水）まで広く県民からの意見を募る「福島県森林環境税に関するアンケート」を実施しています。

アンケートへの参加には、県のホームページで「福島県森林環境税に関するアンケート」を検索いただくか、右の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取ることでアクセスできますので、是非、県民の皆さんの貴重な意見をお聴かせください。



【森林林業部】

## 「県南地方トマト栽培セミナー」を開催しました

令和元年11月12日（火）、中島村生涯学習センター「輝ら里」において、「県南地方トマト栽培セミナー」を開催しました。

講師には「夏秋トマト栽培マニュアル」の著者で、青森県の産地育成会の代表である後藤敏美先生をお迎えし、夏秋トマトの栽培管理についてご講演いただきました。近年の異常気象の影響によって生産現場で問題になっている生育不良や異常果の増加などについて、原因と対策をわかりやすく説明していただきました。

また、農業総合センターからは遮光資材による高温対策とトマトの病害などについて情報提供がありました。

セミナーには生産者やJA職員など87名が参加し、講師の方々の説明を熱心に傾聴していました。質疑応答では、生理障害や品種特性、病害虫対策など様々な質問に対して講師の方々から回答をいただき、出席者はトマト栽培に関する理解を深めていました。



講師による説明

【農業振興普及部】

## 令和元年度県南地方特定家畜伝染病対策防疫演習を開催しました

令和元年11月20日（水）に県白河合同庁舎において、市町村、JA及び県の家畜防疫関係担当者を対象とした防疫演習を実施しました。

特定家畜伝染病とは、鳥インフルエンザやCSF(豚コレラ)及び口蹄疫等、強い感染力や致死性を持つ家畜の病気のことで、ひとたび発生してしまうと経済的、社会的に非常に大きな影響を持つことが特徴です。

当所では、県南地方において特定家畜伝染病が発生した際、スムーズな初動対応を可能とすることを目的として、毎年防疫演習を実施しています。

当日は関係者約60名が出席し、発生事例を映像で確認するとともに、実際の担当者同士で連絡体制を確認するロールプレイングを行うなど実践的な対応を学び、県南地方における家畜防疫体制の強化を図りました。



ロールプレイングによる研修

【農業振興普及部】

## 第2回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました

令和元年11月22日（金）、白河市のヨークベニマルメガステージ白河店において、同店の「美味しいもの福島県産フェア」に併せて、今年度第2回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当日は、パネルを掲示するなどして、県産農林水産物の安全性や魅力をPRし、アンケートに回答していただいた方に県オリジナル米である『天のつぶ』をプレゼントしました。

来場者からは「いつも食べている。」や「食べてみたかったけど、今まで食べたことが無かったので楽しみ。」などの声が聞かれました。



アンケート実施状況

【企画部】

# トピックス

## 高校生の林業現場見学会を開催しました！

令和元年10月7日（月）及び11月19日（火）に、林業分野への新規就業者の確保に向け、高校生を対象とした林業現場見学会を開催しました。

10月7日は、県立白河実業高等学校農業科1年生39名が参加し、矢吹町での高性能林業機械による立木伐採や白河市のバイオマス燃料を生産するチップ工場、泉崎村の菌床しいたけ栽培施設を見学しました。

11月19日には、県立修明高等学校鮫川校普通科1・2年生31名が参加し、棚倉町での高性能林業機械による立木伐採と埴町の製材工場を見学しました。

伐採現場では、チェーンソーによる伐倒作業や高性能林業機械のプロセッサ（枝払い・玉切りを行う機械）による造材作業の見学を行った後、チェーンソーや高性能林業機械の操作体験を行い、林業の現場作業を体感してもらいました。

林業現場は、チェーンソーなど切削機械を取り扱う作業が多いため、最近では安全に配慮した防護服を着用しています。機能性に加えてファッション性も考えられて作られているため、この日は試着も行い姿と形からの林業体験も行いました。

参加した高校生からは、「実際に機械に触れることができ貴重な体験となった」、「現場では機械による作業が多く、林業のイメージが変わった。」などの感想が聞かれ、これからも、林業への就職に関心を持っていただけるよう継続して実施してまいります。



菌床しいたけ栽培施設  
見学



林業機械作業見学  
(白河実業高等学校)



製材工場見学



チェーンソー操作体験  
(修明高等学校鮫川校)

【森林林業部】

## 災害復旧に向けた取組について

農村整備部では、迅速な災害復旧に向けた取組として、管内市町村からの支援要請等に対応するため、農林水産省、県庁各課及び会津農林事務所等の農業土木技術職員の派遣を得て、全職員一丸となって農地(田・畑)、農業用施設(用排水路・農道・堰など)の被災箇所の確認や復旧に向けた測量及び積算書作成などの支援を行っています。



被災農地の測量作業

【農村整備部】



お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

住所 福島県白河市昭和町 269 番地 (白河合同庁舎 4 階)

TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

